

市議会事務局

一般会計要求総額 397百万円
(対前年度+4.3%)

【令和2年度 予算要求の経営方針】

北九州市議会では、平成23年10月に制定した「北九州市議会基本条例」に基づき、市民との協働による開かれた議会の実現を図り、市民の福祉の増進及び市勢の発展に寄与することを目指し、政策立案及び政策提言機能の強化や議会改革などに積極的に取り組んでいる。
令和2年度も引き続き、議会基本条例の趣旨に則り、議会の機能強化及び開かれた議会の実現、円滑な議会運営の推進に向け、事務の執行に努めていく。

【令和2年度 予算要求の基本的な考え方】

㊦: 新規事業 ㊧: 拡充事業

㊦ 議会の機能強化

要求額 268百万円 (対前年度+1.5%)

我が国が直面している人口減少や少子・高齢化の急速な進展といった諸問題に対し、全国で地方創生の取組が進められている中、議会を取り巻く状況は大きく変化し、市民に密着した地方議会に求められる役割は大きくなっている。そこで、北九州市議会は社会状況の変化や市民ニーズに的確に対応していくため、政策立案及び政策提言等に関する機能強化を目指す。

- ㊦
- 北九州空港機能強化・利用促進特別委員会の運営
 - 市議会タブレット端末の運営
 - 市議会政策立案支援事業
 - 常任委員会活動の充実強化
 - 議会図書室蔵書整備

㊦ 市民との協働による開かれた議会の実現

要求額 26百万 (対前年度+3.7%)

市民ニーズに応じた時代が求める議会を目指し、市民に開かれた議会と市民との協働による開かれた議会の促進するため、議会広報の充実、市民との協働のあり方についての研究・実践を進める。

- 市議会中継の実施
- 市議会だよりの発行
- カフェトークin北九州の開催



㊦ その他

要求額 103百万 (対前年度+17.9%)

- ㊦
- 議員改選に伴う経費
 - その他 事務経費等

※ 公開時点での予算要求の内容であり、令和2年度に実施することが確定しているものではありません。